



いままでありがとう!新天地でも頑張って! 2代目くろしお号出発式

平成25年から約11年間、市民に読書の機会を広く提供してきた移動図書館車2代目くろしお号が南アフリカ共和国に寄贈されるにあたり、5月17日(土)に中央図書館で出発式が行われました。2代目くろしお号は、多くの図書館利用者や関係者が見守る中、「いままでありがとう」、「がんばってね」という声を受けながら、新天地に向けて元気よく走り出しました。



日頃からの備えを大切に 糸満市土砂災害防災訓練

5月18日(日)、糸満小学校で糸満警察署、糸満市自主防災組織連絡協議会、沖縄気象台の協力のもと土砂災害防災訓練が行われました。当日は、同校の授業参観と合わせて訓練を行い、多くの親子が徒歩で体育館へ避難しました。避難後は、防災備蓄の説明や沖縄気象台気象防災アドバイザーの島尻勝さんによる防災講話が行われ、災害に対する備えを学びました。



落語って面白い! 喜屋武小学校で落語交流

5月14日(水)、可多家 小里笑^{かたや こりしょう}の名で活動する尾藤政男さんと、落語家の春風亭柳之助^{はるふうてい りゅうのすけ}さんが喜屋武小学校を訪れ、落語交流が行われました。同校と尾藤さんが交流するきっかけは、平成20年にさかのぼります。当時、沖縄に訪れていた尾藤さんが那覇空港で同校の児童と出会い、切り絵を披露したことで意気投合。手紙による交流を続けて、2年後の平成22年には同校で初めて落語交流会が開催されました。春風亭柳之助さんによる落語の説明が行われた後、児童2人が高座に座り小話を披露。会場を笑わせようとする児童を見て、会場は盛り上がりを見せました。尾藤さんが行った切り絵では、できあがった切り絵を見て「すごい!」「どうやってつくったのかな」など声を上げました。また、当日は尾藤さんと空港で出会った当時の児童も駆けつけ、思い出話に花を咲かせました。尾藤さんは「私も75歳になり、沖縄に来ることができるのは今回が最後かもしれないと思っていながら交流させていただきました。今回も多くの子どもたちが楽しそうに笑ってくれて良かったです」と満足そうな表情を見せました。

いつだって まんまるまんなか こどもたち 令和7年度糸満市こいのぼり掲揚式

4月23日(水)、市役所で令和7年度糸満市こいのぼり掲揚式が開催されました。当日は悪天候のため室内での式典となりましたが、子育て支援センターの子どもたちによる体操や糸満市福祉プラザすこやか館の安田辰也さんによるパフォーマンスの披露がありました。式典終了後に當銘市長らから子どもたちへお菓子が配られ、子どもたちは満面の笑顔でお礼を言いました。



暑い日はプールへ! 西崎レクリエーションプールのプール開き

5月3日(土)、西崎レクリエーションプールでプール開きが行われました。施設を管理する糸満市公園・体育施設管理共同企業体の前門昌也代表は「市内外から多くの皆さんが来場しますが、安心・安全、無事故で運営できるように努力していきます」とあいさつし、安全祈願を行いました。子どもたちは、春の心地よい風が吹く中、今シーズン最初の遊泳を楽しみました。



多くの市民と3周年を祝う くる糸満周年祭

令和4年に開館したシャボン玉石けん くる糸満が3周年を迎えるにあたり、5月4日(日)と5日(月)にくる糸満周年祭が開催され約8000人が来場しました。当日は、そばづくりや乗車体験などが行われ、多くの家族連れでにぎわいました。バネ人間の愛称で親しまれる外間友喜さんの頭を飛び越えるパフォーマンスでは、たくさんの歓声があがりました。



につが〜い・・・けどおいしい! ゴーヤーの日の出前授業と給食へゴーヤー贈呈

糸満市では、ゴーヤーの拠点産地として、5月8日のゴーヤーの日から8月5日の裏ゴーヤーの日まで、産地ブランドの確立や消費拡大を目的に、さまざまな取り組みが行われています。5月8日(木)、真壁小学校では「ゴーヤーの日」出前授業と学校給食へゴーヤーの贈呈式が行われました。児童らは、同日の給食に出された糸満産ゴーヤーを使ったゴーヤーとささみのサラダを笑顔で味わっていました。

